

いちごいちえ ● 一五期生学年通信

前回の step 2 「最初の定期テストが始まる」

最初の定期試験はどうでしたか？ 今回のテスト勉強を通して、テスト対策は万全でしたか？ 今回の結果から、次回のテスト対策の改善点が見つかったと思います。テスト返却後は、テスト前の自分の勉強度合いと結果を比較して、次回のテスト勉強対策に繋げましょう。次回のテストが系選択を決める最後のテストです。その事実をしっかり自覚してください。



step 3 系選択予備調査結果を踏まえて、改めて系について考えてみよう

予備調査結果の定員割合 [%]

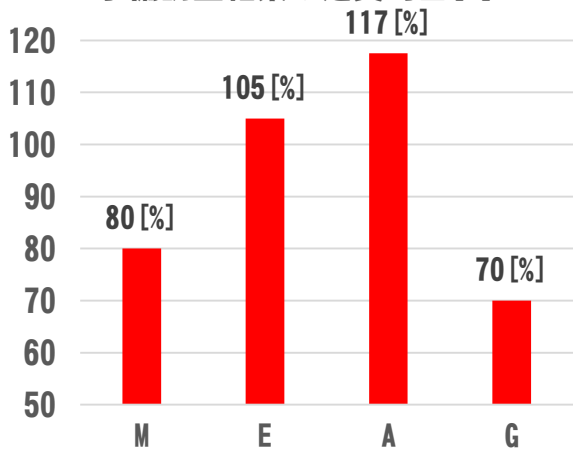


図1 予備調査結果の定員割合

系選択予備調査の結果が出ました。機械系(M系)は募集定員40名に対して希望者数が32名、電気系(E系)は80名に対して84名、建築系(A系)は40名に対して47名、グラフィックデザイン系は40名に対して28名でした。図1は募集定員と希望人数の割合です。E系、A系を希望する生徒は第1希望だけでなく、第2希望以下に関しても順位を固めておきましょう。今後返却される考査の結果から、現在の系希望と成績を照らし合わせてみてください。次回の系選択調査は6月中旬にあります。保護者との相談も忘れずにしましょう。

クラス別予備調査結果

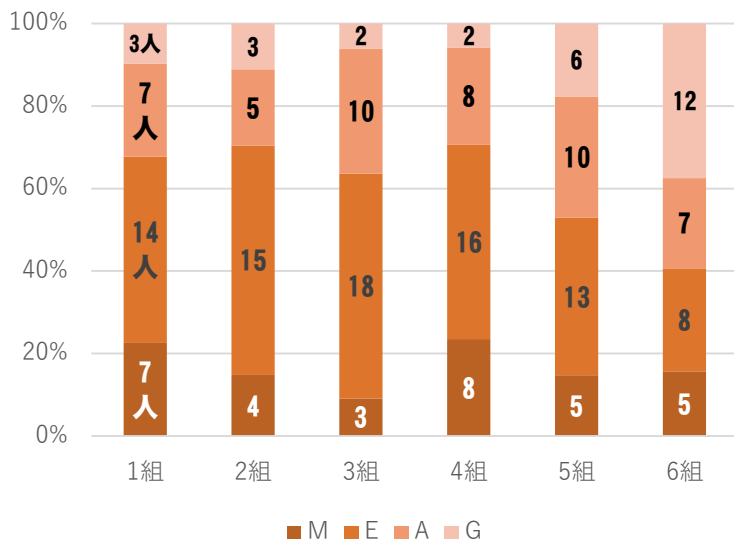


図2 クラス別予備調査結果

また、今回の系選択調査時期と比べて、今は工業技術基礎やキャリアデザインでさらに系の知識を得たと思いますので、次回の系調査に生かしてください。図2はクラス別の予備調査結果です。クラスによって希望状況は異なります。自分のクラスの希望者数や成績順位だけで判断しないようにしましょう。系選択は友人関係にどうしても左右されてしまいますが、自分の興味や関心、進路希望を元に系について考えてみましょう。

5月行事

下の写真は工業技術基礎(実習科目)の授業風景です。各系の特色を生かした実習風景が見られます。

各クラスの工業技術基礎の授業風景です。実習中で作品が完成し、その成果物を持って帰っている生徒をちらほら見かけるようになってきました。一生懸命作品作りに取り組んでいる姿が写真から確認できます。様々な系を体験できる最後の機会ですので、精一杯取り組みましょう。

1-1



E系(スピーカー制作)

1-2



M系(手仕上げ実習)

1-3



A系(面模型製作)

1-4

G系(カメラ映像確認)



1-5

M系(分解組立実習)



1-6

G系(カメラ撮影実習)



1-7

A系(透明水彩を用いた色彩実習)

